

今日のトピック 良好さを維持する米国の雇用統計（2017年4月） サービス業を中心に雇用は順調に拡大

ポイント1 雇用は順調に拡大

4月は前月比21万人の増加

- 2017年4月の非農業部門雇用者数は前月比21.1万人の増加となり、市場予想（ブルームバーグ集計）の同19.0万人増を上回りました。
- 3月の雇用増加数の鈍化（同7.9万人増）は、やはり天候要因による一時的なものだったと考えられます。民間サービス業をけん引役に、雇用は3カ月移動平均で見て月平均+17万人強のペースで順調に伸びています。

ポイント2 失業率は引き続き改善

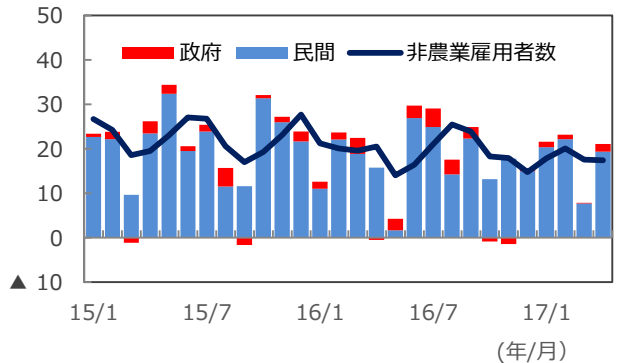
賃金は緩やかに増加

- 失業率は前月の4.5%から4.4%に低下しました。就業者数（労働需要）が増加する一方、労働力人口（労働供給）が伸び悩んだためです。
- 他方、賃金は前月比0.3%増となり、市場予想と一致しました。前年同月比では2.5%増となります。失業率の改善が示す通り労働需給は引き締まっていますが、企業がコスト管理を強めていることなどから、最近の賃金上昇率は足踏み状態にあります。

今後の展開 株価は堅調な展開へ

- 雇用統計が公表された5月5日の米債券市場では、雇用の伸びが市場予想を上回ったため、当初利回りは上昇しました。しかし、注目された賃金上昇率が伸び悩んだことから低下に転じ、結局、前日比はほぼ横ばいとなりました。一方、ニューヨーク株式市場では、雇用統計の内容を受け景気の先行きに対する安心感が強まったことや、原油価格が上昇したことなどを好感して株価は上昇しました。
- 米国の景気、雇用は拡大基調を維持していますが、賃金上昇率は緩やかであり、物価の上昇は緩慢なものにとどまると見られます。これらを踏まえると、今後の利上げペースも緩やかなものになると予想され、年内は6月と12月の2回程度になる見込みです。今後、債券利回りは緩やかに水準を切り上げ、株価は景気・企業収益の拡大を織り込む展開になると考えられます。

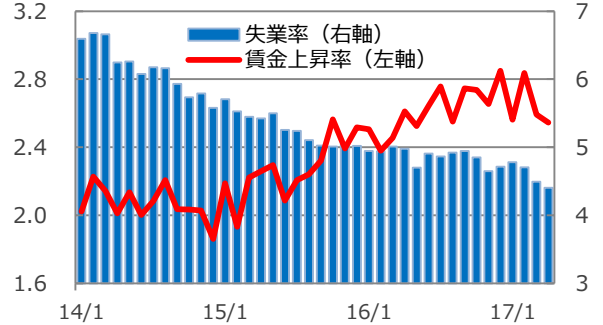
【非農業雇用者数の推移（前月比増減）】



(注) データは2015年1月～2017年4月。非農業雇用者数は前月比増減の3カ月移動平均。

(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【賃金上昇率と失業率】



(注) データは2014年1月～2017年4月。

(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック! 2017年5月 1日 米国のGDP成長率（2017年1-3月期速報値）
2017年4月28日 FRBは「バランスシート」を縮小へ（米国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。